

事務事業名	会計管理事業		事業コード	02010400101	
所管部署	会計課	電話	50-3003	記入者名	伊藤 嘉美
事業対象	市民、一部組合関係市民				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	財務規則			
関連計画	無				

【事業の概要】

正確、適正、効率的な会計事務（収納・支出・審査）の執行を行い、決算を調整することにより予算見積が適正であるか、財政の健全性の原則により、予算が適正に執行されているかどうか検証します。

【事業の目的・事業の概要等】

主な事業

- ・一般会計、特別会計、歳入歳出外会計、病院会計、一部事務会計の公金管理 及び出納事務
- ・歳計現金の保管、運用及び各種基金の保管管理
- ・決算の調整

主な支出

- 印刷製本費（決算書印刷製本、支払通知用封筒印刷） 4 7 3千円
- 消耗品費（証拠書類保管用ファイル等） 1 3 6千円
- 役務費手数料（残高証明書発行手数料） 5 0千円
- 使用料（FBバンクアンサーサービス使用料） 3 8千円
- 備品購入費（手揚げ金庫） 1 4千円

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	会計管理費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	609千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	50千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	52千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	711千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	7.75人	52,661千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	7.75人	52,661千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		53,372千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			106千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		53,266千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		53,372千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業の成果】	成果	納付書払いの件数（病院、一組除く）	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	8000	達成率		達成率		達成率	
	成果	支出伝票の件数（一組含む）	単位	年度	目標値		達成率	58050	達成率		達成率	
					実績値					58145		60151
	活動	納付書払いの件数（病院、一組除く）	単位	年度	目標値	8000	達成率		達成率		達成率	
					実績値			9152		9392		9516
	活動	支出伝票の件数（一組含む）	単位	年度	目標値		達成率	58050	達成率		達成率	
					実績値					58145		60151
				年度	目標値		達成率		達成率		達成率	
					実績値							
				年度	目標値		達成率		達成率		達成率	
					実績値							

すぐに行える改善提案	財務会計での事務処理は軌道に乗っていますが、継続して各部に対して適正な財務事務処理の徹底を図ります。さらに公共料金の口座振替を随時取り入れ事務の軽減と経費の一部削減を図っていきます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	公共料金のうち、電話料の月数回支払日があった納付書払いを月1回の口座払いに概ね変更できた。今後、水道料金についてもシステム改修時に口座払いに向けて改善していく予定です。
中長期的に取り組むべき改善提案	指定銀行から組戻しに対する手数料は今のところサービスしていただいております。しかし今後においては不透明です。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	振込先の口座等に間違いがあり、銀行からの組戻しが発生しています。補助金等の振込み先登録に関しては、支払い担当課への通帳写し等を求め、組み戻しが発生しないようなお一層の周知を図ります。

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
		【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	内部事務のため			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	内部事務のため			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	今まで、サービスとして行っていた各種手数料について、毎年、指定金融期間である福井銀行より、増額の要求が上がっている。将来は各種手数料の内容の見直しも含め検討する必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	一般会計以外にも、病院会計、三國ボート会計、嶺北消防会計の一部支払い業務を受託しており、今後も人員については現状人数が必要となります。			
すぐに行える改善提案	効率のよい会計事務を目指し、今年手がけた電話料金の支払い方法の見直しなど、事務処理上の改善についてさらに研究を進めます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	指定金融機関からの手数料の見直し要求に対し、同じ指定金融機関を持つ県並びに他市のとの連絡を密にし、事務内容の見直しも含め検討します。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】	成果	納付書払いの件数（病院、一組除く）	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	8000	達成率		達成率		達成率	
	成果	支出伝票の件数（一組含む）	単位	年度	目標値		達成率	58050	達成率		達成率	
					実績値					58145		60151
	活動	納付書払いの件数（病院、一組除く）	単位	年度	目標値	8000	達成率		達成率		達成率	
					実績値			9152		9392		9516
	活動	支出伝票の件数（一組含む）	単位	年度	目標値		達成率	58050	達成率		達成率	
					実績値					58145		60151
				年度	目標値		達成率		達成率		達成率	
					実績値							
				年度	目標値		達成率		達成率		達成率	
					実績値							